

宗谷南農協通信

No. 003



- 枝幸小学校社会科見学
- 組合員地区懇談会
- 喫煙・受動喫煙による健康への影響について
- 枝幸町公共育成牧場一斉退牧
- 燃料油（危険物）の保管・店頭購入について

- 安全運転情報
- スタッドレスタイヤについてのお話
- 授精所だより
- JAグループ通信
- 簡単ベトナム語講座

枝幸小学校3年生

社会科見学

9月8日、枝幸小学校の社会科見学が行われ、(株)アグリサポート枝幸ファームAYNIを訪れました。

ファームAYNIを見学したのは、枝幸小学校の3年生と先生の35名で、バスから降りると、初めての牧場の雰囲気や衝撃を受けた子や、困惑する子供たちもいて、静かな牧場が一瞬で賑やかになりました。

学習のテーマは「働く人と私たちのくらし」で、枝幸町の第一次産業の仕事を学ぶ事を目的とし、同社の若山常務が案内役を務める中、およそ1時間牧場内を見学しました。

見学は、牛舎の中央通路から入り、乳牛たちの食事風景からスタートしました。沢山の子供たちを前に乳牛たちも少し驚いた様子でしたが、子供たちに近づいてきたりと皆さん嬉しそうでした。見学の最中にはカウブラシや、除糞用のスクレイパーなど目につくほとんどの物について質問をしていました。

次に、子牛の哺育スペースを通りました。哺育スペースには、生まれて2カ月以内の子牛が飼育されており、あまりの可愛さに全員がさわりたいと子牛の前に列が出来ていました。

最後に、搾乳ロボットを見学し自動で動くミルクカーに不思議そうな顔をしたり、歓声があがったりなどしていました。

見学後は、牛舎の外で質問タイムを設け「白黒の牛と、白赤の牛はどう違うんですか？」や「搾った牛乳は何処へ行きますか？」など様々な質問が飛び出しました。

この体験を切っ掛けに少しでも酪農に興味をもって貰い、将来枝幸町で酪農関係の仕事に就いて頂けたらと思います。

後日、枝幸小学校3年生の皆さんからお礼の手紙が届きました。



組合員懇談会

10月21日、酪農振興センターにて組合員懇談会が行われ、15名が出席しました。開会の挨拶で向井地組合長は、「今回の懇談会は、新型コロナウイルスの発生から全国的に外出や集会の自粛が求められており、農協と組合員の接点が作れない中、乳価交渉や農業予算の要請などの話も進んでいる中で、国政や農協の情報について組合員の皆様と意見交換を目的に開催しました。」と懇談会の趣旨を説明しました。

初めに西澤営農部長から最近の酪農情勢について報告があり、その後は自由に意見交換が行われ、特に農協の新型コロナウイルス対策・中山間地域直接支払制度についての質問や農協のIT化についての意見などおよそ2時間にわたり意見交換が行われ終了しました。



喫煙・受動喫煙による健康への影響について

令和2年4月より、改正健康増進法や受動喫煙防止法等により望まない受動喫煙を防止する取り組みが始まっておりま
す。禁煙・分煙やたばこの値上がりが進み、喫煙者にとっては喫煙しにくい環境が広がっている今、自身の健康の為、一度禁煙を考えてみてはいかがでしょうか。
喫煙者本人への健康への影響ですが、喫煙男性は、非喫煙者に比べ、肺がんによる死亡率が約4.5倍高くなっている他、それ以外の多くのがんについても危険性が増大することが報告されており、がん以外にも、虚血性心疾患（心筋梗塞や狭心症等）や脳卒中による死亡の危険性が1.7倍高くなるとのことです。又、喫煙により空気の通り道である気道や肺自体へ影響を及ぼし、慢性気管支炎や肺気腫、喘息等の呼吸器疾患の原因と関連しています。

受動喫煙による健康への影響ですが、煙を吸うことにより流涙、頭痛などの症状の他、肺がんや虚血性心疾患等の疾患の死亡率等が上昇したり、非喫煙妊婦でも低出生体重児の出産の発生率が上昇するといった報告があり、小児では喘息、気管支炎といった呼吸器疾患等と関連があるとの報告されています。また、乳児では乳幼児突然死症候群と関連があると報

告されています。【厚生労働省ホームページより引用】
北農健保組合では、北農健保に加入している方のみを対象となっておりませんが、3カ月間の禁煙チャレンジプログラムを行っており、又、3カ月間禁煙し、記録票とアンケートを全て提出した人の中から抽選で2名に記念品がプレゼントされることと、令和元年度の禁煙チャレンジプログラムでは当農協の職員である鈴木めぐみ係が挑戦し、見事禁煙を果たして、記念品も当選することができました。禁煙した方へのアンケート結果として、金銭的な負担が減った、喫煙場所を探さなくて良くなった等の回答があり、健康面以外にもメリットがある禁煙に、是非挑戦してみてください。



禁煙チャレンジプログラムにて、禁煙を果たした鈴木めぐみ係



枝幸町公共育成牧場

一斉退牧

10月22日、枝幸町公共育成牧場の一斉退牧が行われました。

枝幸町4Hクラブの若手酪農家と枝幸町職員、(株)アグリサポート枝幸職員、宗谷南農協職員が作業にあたり、33戸、およそ150頭の妊娠牛等を退牧させました。

今年は天気にも恵まれ、爽やかな秋風が吹く中、入牧時と比べ立派な妊娠牛となった乳牛たちは、飼主の元へと育成牧場を後にしました。



退牧牛を家畜車へ追込様子



牧場ごとに乳牛を選別している様子

燃料油（危険物）の保管・店頭購入について

近年危険物による事故の発生や、規制が厳しくなってきたことから、皆様が日常的に使用しているガソリンや灯油などは、誤った取り扱いをすると火災・漏えい・爆発を引き起こす可能性が高い危険物です。事故が起きると被害をもたらすだけではなく、消防法で罰せられ、多額の賠償を負担する場合も想定されます。

○正しい燃料油の保管容器について

タンク水張試験確認済証が貼ってある正しい保管容器で保管し、車台から取り外したタンクや自作タンクなど、消防の許可の受けていないタンクでの燃料保管は絶対にやめましょう。

○油漏えい事故の事例について

- ・タンク脚部の劣化・腐食による倒壊・漏えい
- ・束石へ固定しておらず、倒壊したことによる漏えい
- ・除雪の際に配管が破損したことによる漏えい

※保有しているタンクが老朽化、設置不備であった場合に燃料油が漏えいし、土壌や河川へ流出する事故が起きます。そのような事故が発生した場合の処理には莫大な費用が発生し、タンク所有者が負担することとなります。

○ガソリンを携行缶で購入する場合について

令和2年2月より、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令が交付され、ガソリンを携行缶で購入する際は、本人確認（運転免許証の提示）や使用目的の確認が義務付けられました。又、容器は容器性能試験に合格した適正な容器を使用するようにしましょう。



鹿 衝突事故多発



修理金額平均
50万円

鹿との交通事故は、夕方から夜間に多く発生しています。

9月から12月に多くなっており、特に10月にピークを迎えます。

昨年の鹿による交通事故件数は、全道では3,188件発生しており、宗谷管内では197件でその内33件が枝幸町で起こっています。(北海道警察調べ)

鹿の衝突防止安全策

①早朝、夕方の飛び出しが多い

鹿の出没時間は夜明けと日没前後に集中します。

②1頭だけだと思わない

鹿は群れで行動しています。1頭目が道路を渡りきっても後から2頭目3頭目が飛び出します。

③夜間の光り物に注意

鹿は車のヘッドライトが反射すると目が光ります☆☆

④舗装道路では動きが鈍い

鹿は舗装道路では動きが鈍く、車が近づいても逃げないことがあります。

⑤山間部でのブレーキ痕に注意

道路上に黒いブレーキ痕があったら、それは鹿に出くわした印かもしれません。見つけたらスピードダウンを。

⑥道路脇の林には要注意

森の中を走る道路は鹿のテリトリー内。鹿が飛び出すことを常に意識して下さい。

○今後とも安全運転でお願い致します○

冬にタイヤが滑る原因として、氷の上でできる水の膜が、タイヤと路面の密着を妨げることで滑ります。タイヤの残り溝の確認では、スリップサインとは別に、プラットホームが露出すると冬タイヤとしての性能は十分発揮出来なくなり、非常に危険な状態となりますので、必ず確認をお願い致します。

冬期間の交通事故防止の為、冬タイヤへの交換の前にタイヤの状態を確認し、早めのタイヤ交換をお願い致します。又、スタッドレスタイヤへの交換や購入についてはホクレン北見枝幸給油所及びメカニックサービスへ是非ご相談お待ちしております。

スタッドレスタイヤ
についてのお話



授精所だより



F1の種付けたんだけど、、、



みなさんの牧場で、
「何だか白いの生まれたぞ！」
「ホルスタインっぽい・・・」
「何だか斑紋がおかしいな・・・」って経験はありませんか？



※写真は全て交雑種(F1)です。

□こんな子牛が生まれたら、、、

- ①出生報告 出生報告は台帳の通り、交雑種(F1)でして下さい。
- ②授精所に連絡 検査すべきか自身がない方は、授精師や販売の人に見せてください。
- ③毛根採取 F1で間違えないかを調べるには、毛根採取による親子判定が必要です。
親牛と子牛の両方の毛根が必要です。
授精師が毛根採取に伺い、検査に出します。(検査料：8,360円 税込)

あれ？これF1??という牛が生まれましたら、お気軽に授精所にご相談ください！



9月28日、JR札幌駅にて「フラワーキャンペーン～道産花き日常生活にプラス1～」を開催いたしました。本キャンペーンは、北海道経済連合会とJAグループ北海道の主催で、新型コロナウイルスの感染拡大により需要が落ち込んでいる北海道産花きの需要を喚起することを目的として、お越しいただいた道民の皆さまに北海道産の花1,000束を無料配布いたしました。小野寺会長(JA北海道中央会)、真弓会長(北海道経済連合会)に加え、北海道のご協力のもと、鈴木知事にも応援に駆けつけていただき、1,000束の花全てを配布することができました。

皆さまも是非、ご家庭で北海道産の花を飾っていただくとともに、大切な人への贈り物などでも道産の花を取り入れて、花のある、そして華のある日常生活を楽しんでください。

JAグループ北海道は、「AGRIACTION! HOKKAIDO」(アグリアクション北海道)の一環として、今後も北海道産花きの消費拡大に取り組み、花き生産者を含む全道の生産者を応援していきます。



JA北海道信連



8月25日、バイオマスリサーチ株式会社(本社:帯広市)と北海道信連、農林中央金庫は酪農・畜産業へのバイオガスプラント普及に向けた連携協定を締結しました。3者が連携することにより、プロジェクトチームの組成、事業性評価とファイナンスメニューの構築に取り組み、ふん尿処理にかか
る営農課題解決に加え、循環型で持続的な営農体系の確立と、エネルギーの地域循環の実現を目指してまいります。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。

街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に活動しております。

今年度も札幌地区では9月23日に共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全運転を呼びかけました。



ホクレン



ホクレンは、「ホクレン大収穫祭」の一環として、北海道米「ゆめぴりか」計4tと、北海道産馬鈴しょ、玉ねぎそれぞれ計500kgを、札幌市内の児童福祉施設10カ所に寄贈しました。寄贈は今年で36回目。今年は新型コロナウイルスの影響で、札幌三越での会場販売が取り止めとなったこと

から、ホクレンの篠原末治会長が札幌市役所を訪れ、町田隆敏副市長に目録を手渡しました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。10月発刊の秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。

是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧くださいアンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

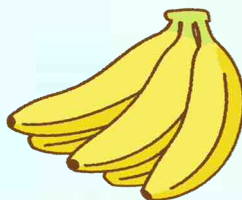


～簡単ベトナム語講座～No.3

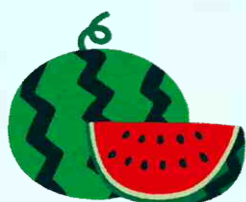
今回の講座ではベトナムでよく食べる果物の単語について紹介していきます。



「マンゴー」
ソアイ
xoài



「バナナ」
チュウイ
chuối



「スイカ」
スーハオウ
dưa hấu



「パイナップル」
ズウア
dứa

ちなみに、上の果物は一年中実って下
のジャックフルーツやドリアンは時期が限られている果物だよ



これはジャックフルーツという果物でベトナム語では「mit」(ミツ)といいます

この果物は世界最大のフルーツと言われており、5キロ以上の大きなものもあるので一般的には皮をむいて中の果肉だけが売られています。



次に臭いで有名なドリアンです。ベトナム語では「Sầu riêng」(サウリン)といいます。この果物は別名「フルーツの王様」や「悪魔のフルーツ」とも呼ばれており、その名の通り臭いは悪魔的に臭いが味はとても甘くてバナナのようにクリーミーでとてもおいしいといわれています。

ドリアンを食べる時炭酸飲料やお酒と一緒に食べると胃の中で化学反応が起き、胃がガスで膨張し嘔吐する可能性があるので十分注意して食べましょう

